

## 令和7年度 学校評価報告書

豊山町立豊山中学校

### 1 学校評価の実施

#### (1) 目的

本年度の学習指導や生徒指導等、教育活動全般について、教職員・生徒・保護者、それぞれの視点による評価を分析し、次年度に向けた教育活動の改善に活かす。

#### (2) 時期

令和8年2月

#### (3) 方法

アンケート形式

#### (4) 内容

教育目標、経営方針、学習指導、生徒指導、安全教育、いじめ対策、情報提供、保護者との連携、課程・地域に根ざした学校づくりの中から、教職員・保護者は9項目、生徒は7項目。

### 2 学校評価アンケートの分析

#### (1) 教職員

- 「生徒の実態や特色を生かした教育活動を行っている」という項目に肯定的に回答した教職員が90.3%となり、昨年度を下回ったものの高い結果となった。生徒も「学校で行われるいろいろな行事は楽しく参加している」という項目で肯定的な回答が94.2%であり、生徒、教職員ともに有意義な教育活動が行えていると考える。
- 「先生や地域の方にあいさつや会釈をするよう指導し、挨拶の習慣化を図っている」という項目に肯定的に回答した教職員が87.1%となり、昨年度より10.0%低下した。今後は、教職員があいさつの手本を示すとともに、生徒が適切にあいさつを行えた場面で賞賛していく必要性を感じる。
- 「生徒のことについて適宜家庭と連絡・相談を行い、良好な信頼関係ができていく」という項目において、肯定的に回答した教職員は100%であり、昨年度の100%より2.9%上昇した。しかし、「保護者との連携や地域の期待に応えていこうと努力している」という項目で肯定的に回答した教職員が93.6%となり、昨年度を0.7%下回った。今後は、さらに教職員がこまめに保護者と電話などで連絡を取り合ったり家庭訪問したりするなど、信頼関係づくりに努める必要性があると考えられる。

## (2) 生徒

- 「学校で行われるいろいろな行事は楽しく参加している」という項目で肯定的な回答が94.2%と非常に高く、昨年度と同様に非常に高い値になった。これは、生徒が行事を含めた学校生活を楽しんでいる結果と考える。
- 「授業に一生懸命取り組んでいる」という項目で肯定的な回答が92.1%と昨年度と同様に非常に高い値になった。これは、教職員が「主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成」を目標に授業実践に取り組んだ成果であると考え。また、タブレット端末を利用するなど工夫して授業を行ったことにより、どの生徒も主体的に授業に参加し「できた」という自己有用感を感じることができている結果であると考え。
- 「学校生活の中で友達と協力し合い、思いやりをもって接している」という項目に肯定的に回答が96.0%、「友達や先生、地域の人に挨拶をしている」という項目でも肯定的な回答が97.0%となり、昨年度と同様に非常に高い結果となった。今後も、道徳や学級活動、学校教育全般において豊かな心を育む教育を心がけていきたいと考える。
- 「いじめや悩みごとがあったとき先生は真剣に話を聞いてくれる」という項目において肯定的な回答が94.3%と昨年度を上回った。「毎日の記録」での担任とのやりとりや、いじめアンケートの実施、教育相談での聴き取りを充実させている成果だと考える。引き続き、生徒との信頼関係を築いていく努力をしていきたい。

### (3) 保護者

- 「学校は行事や総合的な学習を通して、生徒に表現力を身に付けさせ主体的に行動できる生徒を育てるように指導している」という項目では、肯定的な回答が90.4%と高く、昨年度を上回る結果となった。これは、生徒が行事を含めた学校生活を楽しんでおり、保護者もその様子を子どもとの会話や子どもの雰囲気から感じ取っている結果と考える。
- 「学校は確かな学力を身に付けさせるために授業や指導の工夫を行っている」という項目では、肯定的な回答が77.6%であった。これは昨年度より13.8%上昇した。今後は、さらに教職員が主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成を目標に、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を意識した授業実践に取り組んでいく必要があると考える。
- 「豊山中学校の生徒は挨拶がよくできる」の項目の肯定的な回答が69.7%であり、前年度より12.8%上昇した。しかし、生徒アンケートでは「友達や先生、地域の人に挨拶をしている」という項目で肯定的な回答が97.0%と高い水準を維持しており、保護者の回答とは以前開きがある。今後は、校内のみではなく、地域や公共の場でも豊中生らしく元気な挨拶ができるよう支援していきたい。
- 「学校は、いじめの早期発見、早期解決に努めている」という項目では、肯定的な回答が75.5%であり、昨年度より10.4%上昇した。しかし、生徒のアンケートでは「いじめや悩みごとがあったとき、先生は真剣に話をきいてくれる」という設問に対し、肯定的な回答が94.3%であり、昨年度より0.8%上回る結果となった。この2つの結果の差から学校全体のいじめ対策の取組に関する情報公開を高める必要性を感じる。同時に、より一層のいじめに対する早期解決に教職員全体で取り組んでいく必要があると考える。
- 「子どものことについて、担任や学校に安心して気軽に相談できる」という項目に対しては、肯定的な回答は79.7%であり、昨年度より8.2%上昇した。また、「保護者の意見を聞き、その信頼と期待に応えていこうと努力している」という項目においては肯定的な回答が76.9%であり、昨年度より7.6%上昇した。今後もより一層学校の教育活動の様子を発信することにより理解を得て、より多くの保護者の方の声に耳を傾け、信頼してもらえるような教育活動を行っていくよう努めていきたい。

### 3 学校運営協議会による評価

#### (1) 時 期

令和8年2月19日（木）

#### (2) 場 所

豊山中学校 ランチルーム

#### (3) 方 法

学校評価アンケート（教職員・生徒・保護者）の分析結果を報告し、委員より意見を集約。

#### (4) 委員の意見

- 学校公開日に多くの保護者が参観していたことから、保護者の生徒や学校への関心の高さを感じた。小学校では「子どもサポーター」という組織があり、運動会の片付けの補助、調理実習の補助、危険を伴う作業のある授業の補助等を行っている。「やれるときに、やれることを」行っていきたい。
- 不登校の生徒の多さに驚いた。S組の取組は、暗闇の中でもがいている生徒にとって必要だと思う。
- 不登校の生徒も、登校できている生徒も疲れていると思う。SNSに振り回され、今日の出来事を整理する時間がないのではないかと思う。学校公開日が増えたことが、学校評価アンケートでの保護者の肯定的な回答が増えた要因になっていると思う。
- 情報がオープンな学校は、身近に感じるができると思う。ホームページに限らず、公立高校もリール動画などを取り入れている。ルールやマナーについて指導するのも、先生が行うより、地域の方が行う方が効果的だと思う。そのような地域の活用方法もあるのではないか。
- 中学校より小学校の方が、地域とつながりやすいと思う。学校を支えるためには、地域も元気でないといけないと感じる。
- 部活動の地域移行は、生徒が楽しめるかが大切である。また、部活動の素晴らしい効果を教員が生徒と共有していくことも大切であると思う。
- 部活動の地域移行に対して、子どもにとっての空いた時間の居場所づくりが大切になると思う。その居場所づくりには地域の力が問われると考える。学校のあり方が変わっていくタイミングなので、地域と学校が協力し、学校のあるべき姿に近づける必要がある。
- 野球部は、スポーツ少年団とうまく連携できたケースであると思う。地域の祭りも中学生が参加したいと思えるようなものにしていく必要がある。

#### 4 次年度への課題と改善点

- 学習指導においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化した授業を展開できるよう、授業形態を工夫し、タブレット端末を有効に利用していく必要がある。タブレット端末の効果的な利用について職員も一層の研鑽を積み、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう努力していきたい。
- いじめ対策や生徒の悩みについての相談については、今後も、より一層、教育相談やいじめアンケート、「毎日の記録」でのやりとりなどで生徒の心情の把握に努め、生徒の心に寄り添っていきたい。また、生徒が相談しやすい環境づくりにも努めていきたい。
- 地域でも、豊中生らしい元気のよい挨拶ができるよう、また、地域で活躍し貢献していこうとする気持ちをもった生徒を育成できるよう指導していきたい。
- 保護者との連携、家庭・地域に根ざした学校づくりに関しては、今年度高い評価をしていただいたホームページでの生徒の活動や教育活動の状況の情報発信を、より充実させていきたい。また、地域の方や保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、より多くの方に信頼してもらえるような学校を目指していきたい。そして、学校・家庭・地域が共に協力し合って同じ目標をもって生徒を育てていくことができるよう努力していきたい。